

逆瀬台小学校区まちづくり協議会(ゆずり葉コミュニティ)

令和5年度 役員・5役・委員名簿 (5月末現在)

《5役名簿》(5月末時点は4役)

会長	石谷清明
事務局長	濱崎史孝
活動支援局長	中村恭典
特命部長	久保英信

《監査役員》

監査役員	遠藤捷爾
------	------

《事務局委員》

広報委員	篠原和豊
書記委員	小島喜子
経理委員	柳瀬邦雄
施設委員	中村一雄

《活動局委員》

活動委員	松田洋三郎
"	小島一郎
"	大迫規子
"	稲垣 滋
"	濱崎史孝
"	田辺輝子
"	外山算彦
"	久保英信
"	阪尻千恵子
"	尾川三代子
"	金田美智枝
"	石谷清明

《役員名簿》

自治会及びマンション管理組合	役員名
逆瀬台自治会	久保英信
逆瀬台自治会	佐野幸二
光ガ丘自治会	中村恭典
光ガ丘自治会	松田洋三郎
阪急逆瀬台アヴェルデ自治会	大迫規子
阪急逆瀬台アヴェルデ管理組合	萩原 隆
逆瀬川グリーンハイツ自治会	濱崎史孝
逆瀬川グリーンハイツ自治会	柳瀬邦雄
阪急青葉台自治会	稲垣 滋
逆瀬川マンション自治会	山本 勝
宝梅園団地自治会	野田まゆみ
宝塚西山住宅管理組合	鞍岡真琴
ゆずり葉台自治会	前田博子
阪急逆瀬台マンション自治会	石谷清明
逆瀬台2丁目自治会	中村一雄
逆瀬川パークマンション自治会	吉田 豊
逆瀬台住宅管理組合	都田真志
シャンティ逆瀬川管理組合	津曲健二

(3)光ガ丘コミュニティガーデン(CG)セミナーを終えて

光ガ丘コミュニティ・ガーデン 実行委員会 松田

セミナー参加者：令和4年11月3日 34人
令和5年1月22日 30人、3月26日(雨)
20人＝延べ74人

1) 遺れたこと

木村智子女士をfacilitator(進行役)として参加者がわいわい意見を交わしながら方向性を定め、実践策を模索しました。人びとの幸せとは(ウエルビーイング)?人々は何を求めているのか?光ガ丘の良いところは?これからどんなまちにしたいのか?どんな公園にしたいのか?どうすれば人は集い来るのか?等を参加者に考えさせるなどの精神作興、そして Workshop では初顔合わせな



ら多くの意見が飛び交いました。実現で出来そうなものを選び板書、4月以降のCGの課題としました。(添付写真参照)身体を使つての実践面ではチューリップ球根の植え付け、ハーブの活用法の実践、シンビジュームの株分け、春・夏花苗の植え付け等々CGの作り方の基本を体験しました。

2) 基本スタンス(目指したいところ)

”人・子供達ありき“で四季折々に子供さんたち(含む親御さん)の”自由な発想・遊び心“を育む場所として公園を位置づけ、そこに植栽計画を載せていこうと考えています。今後の企画は人々(含む子供さん達)の心を惹きつけるもの、遣つてみたいと思える企画、更に「新しく遣りたい会を起ち上げたい」人にも場を提供していけるような環境を整えたい。



3) 想定外の発展—「光ガ丘コミュニティ」の立ち上げ

セミナーへの参加を通じて既存諸組織の会員・参加者同士間に親密度が深くなり、一体感が生まれたのか既存組織の垣根を取り外し全体を一つに纏めた「光ガ丘コミュニティ」(仮称)を起ち上げるに至りました。その広報活動をLINEの公式アカウント開設で光ガ丘の全組織の活動状況が分かるようになります。これで諸活動に興味を抱く潜在会委員の発掘へと繋げ、各組織の会員増加に

寄与できるのでは無いかと期待しています。将来は広報活動に加え「光ガ丘コミュニティ」としての企画立案・行事展開へと進め得ればと思つていきます。

以上

2, 「防災」ふれあいと助け合いで安心して暮らせるまちづくり

(「まちづくり計画」NO.20)

昨年は、8月7日(日)、12月4日(日)、2月5日(日)に3回ワークショップを行いました。今年度も継続した話し合いを行います。

今年度、第1回は、6月25日(日)に元兵庫県職員で防災士の田中けんいち様の「防災、減災講演会」を行い、「逆瀬台地域における防災のあり方」というテーマに沿ったワークショップを行います。

また、逆瀬台小学校と協働の避難訓練や、宝塚ゴルフ倶楽部への避難訓練も可能にしたいと考えています。



3, ふれあいと助け合いで安心して暮らせるまちづくり

(「まちづくり計画」NO.16, 18)

自治会が管理運営する自治会館・マンション集会所を地域住民のふれあいサロンとして活用して顔の見える関係をつくる。また、高齢者等が気軽に集まって食事ができる場をつくる。(地域食堂、気軽に立ち寄れる喫茶スペース等) ↓助け愛デリ「または「ナイトサロン」の継続実施。



4, まちづくりにつながるひとづくり

(「まちづくり計画」NO.40, 45, 49)

地域内の才能を持った人を「人材バンク」に登録し、活躍していただけるシステムをつくり、学校の教育のなかで地域の魅力や問題点の発見学習を行い、まちづくりに対する意識や地域への愛着を育む。また白瀬川でホタル観賞、自然観察等ができるように「白瀬川の自然を守り、ホタルを育てる会」を発足し、環境の保全維持に努め、住民の交流の場づくりを目指す。



5, 安全・安心・便利なまちづくり

(「まちづくり計画」NO.25, 26, 33)

県道明石神戸宝塚線の騒音対策(速度制限や看板の設置、警察官の配置など)について、現状や課題の把握・検討を行政に働きかける。

